

・移住交流支援センターだより・

NPO
グリーンバレーの
伊藤・吉田が
お届けします。



お問い合わせ
☎676-1177
IP: 2028

空き家相談会を開催しました

5月30日(月)に神山町役場にて空き家相談会を実施し、新規4件、再相談1件の計5件の相談がありました。また、4月以降、他にも5件の空き家相談が個別にセンターに寄せられました。相談内容は、空き家の賃貸・売買についての具体的な相談から、相続した神山の土地をどうしたらよいかわからないという漠然としたものまで様々です。産業観光課または移住交流支援センターでは、空き家に関する相談を随時受け付けております。どんなことでも、お気軽にお問い合わせください。

次回の空き家相談会

日時：令和4年8月12日(金)

9時～15時

場所：神山町役場2階鶯宿

- 空き家から出るモノを再利用 -
[モノストック] オープンデー
7/26(火) 9時～12時
8/28(日) 9時～12時
神領青井夫・旧国道沿い



今月のインタビュー

昨年8月に移住された耕さんご夫妻を紹介します。

〈移住前の暮ら〉

章彦 もともと建築のカメラマンとして働き始めた後、レタッチャーという写真修正の専門職となりました。30代後半、年齢を理由に転職を断られるという経験をものどかしく感じていた頃、在米日本人写真家のレタッチャー職に応募し、ニューヨークに移住、仕事をする機会に恵まれました。

郁美 大阪で不動産の仕事をしていました。40代で食への関心が湧き、一念発起して短大で栄養士の勉強をしました。そのため私は遅れて渡米しましたが、1年半程して母の介護で徳島に戻ることになり、しばらく夫婦別々での暮らしが続きました。



あさひこ 章彦 大阪府出身
いくみ 郁美 海陽町出身
阿野二ノ宮在住

〈移住のきっかけ〉

章彦 ニューヨークで16年間ほど過ごし、昨年1月に帰国してから鴨島で夫婦一緒に暮らし始めました。ところが、アパートのインターネット速度が仕事には不十分で、神山はネット環境が速いと聞いてすぐに神山で家探しを始めました。仕事を理由に大都会で暮らしていましたが、落ち着いた田舎の方が元々好きでもありました。

〈お仕事について〉

章彦 レタッチャーとしては、主にファッションや宝石ブランドの写真を修正しています。コロナ流行によるロックダウンで、帰国前から在宅勤務に切り替わっていたこともあり、今もニューヨークから仕事を引き受け、自宅で作業しています。

郁美 4月から阿川地区の集落支援員として、公民館で働いています。公民館や小学校の施設管理や、高齢者世帯への訪問を行う予定です。



在宅でのお仕事の様子

〈神山での暮らし〉

章彦 仕事以外にも、自分の写真作品を昔から作り続けています。

最近では近所で畑を借りることができ、畑の変化が日々楽しみで、家の前を流れる川に集まる、サギやトンビなどの野鳥を見るのも好きで、毎日飽きません。

郁美 今まで住まいを転々としていたので、神山の家でようやく落ち着いた感じがします。前職の経験を生かして、自分でインテリアの改修を考え、阿川の木工さんに工事をお願いしました。1階の部屋の壁は、自分たちで塗り直しました。

〈今後の抱負〉

章彦 実は色弱という視覚障がいがあり、高校生の頃に色彩を扱う仕事は無理だと言われた悔しい過去もありました。でも、自分なりに考えて腕を磨き、視覚に関わるプロフェッショナルになれました。IT技術を使うことで障がいを取り越えて仕事をしてきた経験などを、何か障がいを抱えている人たちに、発信していけたらと思います。

郁美 集落支援員として地域全戸の挨拶回りを終えたところで、地図を片手に山道を巡るのは良い経験でした。山の上にも集落があり、皆さん庭や畑を綺麗に手入れされていて驚きました。まだまだ知らないことばかりなので、もっと地域のことを知っていきたいです。

新規移住相談件数

4月：12件 5月：9件